

# Nutrition Support Times

## 本物のチーム医療NSTをめざして

今回は今一度 NST について考えたいと思います。この前のワーキングで NST で何をしないといけないかわカラナイという看護師さんや、栄養のない輸液しかしない医師の話など、NST の出発点から見直していかなければいけないようなことを聞きました。NST の一部のスタッフしか NST を理解できていないことが現実なのかと大変反省させられました。今まで啓蒙してきたと思ってきたことも何一つ継承されてきていないことはかなりショックです。意識レベルも遠のくくらい。でもここでしり込みせず一から出直そうと立ち直りも早くそ

の対策をしていこうと考えています。医師・専攻医・研修医に参加してもらうこと、看護師さんはスタッフ育成のためにも担当は最低2年間継続させてほしいことなど、積極的にアプローチしていきたいと思いません。栄養管理の重要性を認識し実践することが、患者のQOLに影響を与えるか。病気だけを診ていても誰も幸せではないと思いません。急性期・超急性期病院であってもそれは何もかわらないと思いません。NST をみんなが理解してやっていけるようにがんばっていききたいと思います。



世に言うNSTの心得

### NST spirit

NSTのSpiritとはまず患者のことを第一に考えることは当然ながら

1. 医療人としての自覚を持つ  
職種にとらわれず患者のためとなることを行い害となることはしない
2. 和を尊重  
医療チームの一員としてチームワークを乱さない。積極的に参加
3. 患者に愛情を持って接する、医療を展開する
4. 栄養管理の基本的な技術・知識を習得  
栄養アセスメントとその評価法、管理法、プラン作成
5. 危機管理・回避能力を身につける  
誤接続予防、感染予防
6. 病院経営や医療経済の観念を持つ  
無駄な経費、医療費削減  
NST Spirit で邁進しよう!

## 栄養療法のアウトカム

当院ではどうかかわらないが、栄養療法そしてチーム医療は医療の質を上げ全人的な医療をする中ではかかせないものとなってきている。NST の目的は入院患者の栄養状態を把握して、低栄養の場合はもちろんのこと、低栄養準備状態の患者でも今後の医療行為との関連において必要と予想される場合は、積極的な栄養療法の介入を主治医にアドバイスし、合併症を減少させるのみならず、目的とする原疾患に対する治療法の効果をあげやすくすることである。その結果患者の合併症減少や入院期間の短縮にも結び

つき、病院運営への寄与も考えられる。全国的には図1に示すとおりアウトカムが得られているというが、当院のNSTではどうかだろうか。まだまだNST の実力が発揮できていないところがあると思うが、きっと全国並みの結果は得られるはずである。じゃどうすればいいのか！それは病院全体の協力体制を得ることが一番大事なことではないでしょうか。NST に対しての要望や苦情その他ご助言を皆様からいただき、せめて全国並みのNST にはなっていきたいと思えます。いっそうのご協力をお願いいたします。



図1 施設内における NST の効果 (182施設)

## NCM 講演会予定

月日	内容	担当
9/25	アルツハイマーの栄養	葛谷先生
10/23	PEGについて	PEGチーム
11/27	肝臓の栄養について	木本先生
1/22	腎臓と栄養について	田路先生
2/26	免疫と栄養について	永井先生

### NSTカンファレンス・回診

毎週水曜日 pm1:00~

8北(861) NST カンファレンスルーム